

国語科学習指導案

日 時 令和2年9月15日（火）5校時

生 徒 増毛町立増毛中学校 第2学年 25名

指導者 渡 辺 大

1 単元（題材）名 4 表現を見つめる 『夏の葬列』

2 単元（題材）について

（1）教材観

生徒はこれまで、構成や展開について第1学年において「オツベルと象」で学習してきた。

「夏の葬列」は、戦争というものの爪痕の深さ、戦後十数年を経てもなお一人の人間をとらえて放さない戦争の執拗さが、様々な表現の工夫を通して描写されている作品である。二つの死を背負うことを不可避にしてしまった行為について、主人公がどのように責任を取って生きていくのかということ問いかけている作品である。

また、現在と過去の場面が交互に構成されている点や、主人公の人称が「彼」「俺」「僕」というように場面によって使い分けられている点、「青」や「白」、「赤」、「黒」などの鮮やかな色彩が用いられる情景描写の工夫など、作品の読解から学べる点が多い教材である。描写の効果や登場人物の言動の意味などについて考えさせることを通して、内容を深く理解させたい。

本教材では、主人公の生き方について考えさせていくために単元で取り上げる言語活動として、「主人公を許すか許さないかを考える」を設定する。主人公を許すか許さないか、本文をもとに判断させることで、根拠を明確にして自分の考えをまとめる力を身に付けさせたい。

（2）生徒観

国語の学習を苦手と感じている生徒が多いが、授業中は、意欲的に話し合ったり自分の考えを書いたりすることができる。また、日頃から読書に親しんでいる生徒が多く、物語や小説を読むことを楽しめる生徒も多い。

これまで「読むこと（文学的文章）」の領域では、表現の工夫について理解したり、物語の解釈について交流したりする活動をすることで、一つひとつの表現に立ち止まり、自分の考えをもったり、交流から得た仲間の考えをメモとして書き留めたり、物語の内容について考えを深めたりする力が付いてきた。自分で考えをもてない生徒については、物語の内容について質問し、段階的に自分の考えがもてるように支援を行ってきた。

本題材においては、これまで行ってきた学習を踏まえて、グループ学習や意見交流などの対話的な活動を通して、物語を読んで自分もった考えを、さらに深めたり広げたりできる学習を行っていききたい。

3 研究の視点との関わり

（1）視点1 自己の学習を見通し、振り返る主体的な学び

- ①興味や関心を高める
- ②見通しをもつ
- ③振り返って次につなげる
- ④自分と結びつけて考える

単元の導入では、二つの死の責任をもつ主人公の罪の意識の重さについて、根拠となる記述をもとに話し合うことを通して、「主人公の生き方についての自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」という単元全体のゴールを設定する。あらすじを確認した段階で主人公の行為に共感できる部分と許すことはできない部分が出てくるため、ゴールに向かってもっと細かく読んでみたいという興味・関心を高めさせることが期待できる(①②)。読み深めていく視点として、人物の描写や人称代名詞、現在と過去の場面が交互に繰り返す構成などのポイントを挙げ、学習の流れに見通しをもたせるようにしたい(②)。各時間の授業の終末には振り返りの場を設定し、共感できる部分や許すことのできない点について根拠を明らかにしながら思考ツール「マトリックス」に自分の考えを書き込んでいく。それによって、単元の終末で判断するための資料を蓄積したり、自分の読みを確認したりすることができる(③)。

単元の終末では、人称代名詞や構成・展開に工夫の見られる作品を紹介し、これまでの読書生活を振り返ったり、今後の読書生活に生かしたりしようとする意欲を高めさせたい(④)。

(2) 視点2 思考を広げ、確かな学びに向かう対話的な学び

①互いの考えを比較する

②思考を表現に置き換える

③多様な手段で説明する

④協働して課題解決する

本単元では、思考ツール「クラゲチャート」「ステップチャート」「マトリックス」「スケールチャート」を活用する。「クラゲチャート」は根拠が明確になるよさがあるので、導入段階で時代背景を捉えるために活用する。「ステップチャート」は順番が明確になるよさがあるので、段落を時系列にそって並べ替える際に活用する。「マトリックス」は根拠と自分の考えを分類して可視化できるよさがあるため、主人公の罪の重さを判断するための情報を整理するために各時間の学習の中で「根拠」「思い・考え」という2つの観点を設定して活用する。本時で活用する「スケールチャート」は数直線上に示された指標をもとに自分のネームプレートを置いて意思表示していくものである。自己の内面を位置(立場)で相対化することは「なぜ、そう考えたのか」という自己への問い、他者への問いを引き出すことにつながる(①②)。また、考えや思いの共通点や相違点に着目しやすいよさがあるため、共通する部分を関連付けることで考えを深めたり、反対の考えを聞いてみることで考えに変容が生まれたりすることが期待できる(①②③④)。その際は、マトリックスに書かれた根拠を指し示したり線を引いて説明したりするなど相手意識をもって伝えるようにする(③)。

4 単元(題材)の目標

- ・構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流することができる。
- ・人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深めることができる。

5 単元(題材)の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解を深めようとしている。	構成や展開の特徴を捉え、人物の心情の変化について感想を交流している。	指示語の役割や効果について理解している。

6 単元（題材）の指導計画（6時間）

時 数	<p style="text-align: center;">主な学習内容および学習活動</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>課題 <input type="checkbox"/>まとめ 【 <input type="checkbox"/> 】活動形態 </p>	<p style="text-align: center;">■評価規準（ ）評価方法</p> <p style="text-align: center;">【 <input type="checkbox"/> 】研究の視点</p>
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>登場人物や時代背景を確認してあらすじを捉え、学習計画を立てよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールを明確にする。【全体】 単元で取り上げる言語活動「主人公を許すか許さないか自分の考えをもつ。」 ・教師の範読を通して登場人物と場面設定の確認をする。【個】【全体】 ・回想部分の時代をクラゲチャートを使って明らかにする。 (戦争・疎開児童・艦載機・防空壕など)【個】【全体】 ・マトリックスに自分の考えをまとめる。【個】 	<p>■登場人物や時代背景を確認し、あらすじを捉えている。(ノート)</p> <p>【視点1(2)】 見通しをもつ。</p> <p>■回想部分の叙述をもとに時代背景を捉えようとしている。(クラゲチャート)</p> <p>【視点2(3)】 思考を表現に置き換える。</p>
② ③	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>作品の構成を捉え、「時間の順序」と「場面の展開」の効果について考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの場面について確認する。【全体】 ・それぞれの場面でのできごと(誰が何をした, どうした)をまとめる。【個】【全体】 ・それぞれの場面が現在か過去かを明らかにする。【個】【全体】 ・ステップチャートを活用して第一場面から第五場面までを過去から現在までの時系列にそって並び替える。【個】 ・時間の順序を入れ替えることで, どんな効果があるのか話し合う。 【グループ】【全体】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>夏の葬列は, 過去と現在が交互に展開されたり, 「現在」の中に, 過去が挿入されたりするという構成上の特色がある。 また, 現在で見ている光景が過去に見た光景と似ていることで, 主人公がしまい込んだ記憶へと読者を引き込む効果がある。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・マトリックスに自分の考えを追記する。【個】 	<p>■5つの場面でのできごとや構成の特色について捉えている。(ノート)</p> <p>【視点2(3)】 思考を表現に置き換える。</p> <p>■物語の展開や表現の工夫の効果について話し合っている。(観察)</p> <p>【視点2(1)】 互いの考えを比較する。</p>
④	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>主人公の人称の使い分けの効果について考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公を示す語を抜き出し, 比較する。【個】 ・使い分けることでどんな効果があるのかを話し合う。 【グループ】【全体】 	<p>■主人公の人称の使い分けについてまとめている。(ノート)</p> <p>【視点2(2)】 思考を表現に置き換える。</p>

	<p>「僕」「俺」とすることで、「彼」とは異なり、辛い思いを際立たせる効果がある。</p> <p>・マトリックスに自分の考えを追記する。【個】</p>	<p>■効果について話し合い、自分の考えを深めている。 (観察)</p> <p>【視点2(1)】 互いの考えを比較する。</p>
⑤	<p>これまで読み取った内容をもとに、主人公に対する自分の考えをまとめよう。</p> <p>・主人公の生き方について、これまで書きためたマトリックスをもとにしながら許せるか許せないかを本文を根拠にして考え、スケールチャートにまとめる。【個】</p>	<p>■人物の描写から心情の変化を捉え、それについて自分の意見をもっている。</p> <p>【視点2(2)】 思考を表現に置き換える。</p>
⑥ 本時	<p>本文を根拠にした話し合いを通して、主人公に対する自分の考えを深めたり、広げたりしよう。</p> <p>・前時で考えた主人公の生き方（許すか許さないか）について、確認する。【全体】</p> <p>・同様の意見をもったグループで考えを交流し、意見を深める。 【グループ】</p> <p>・異なる意見をもったグループで考えを交流し、意見を広げる。 【グループ】</p> <p>・主人公を許すか許さないかについての考えを全体で共有する。 【全体】</p> <p>・本時の学習について振り返りを行う。【個】</p>	<p>■主人公の生き方について話し合いを通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 (スケールチャートへの加筆、観察)</p> <p>【視点2(4)】 多様な手段で説明する。</p> <p>【視点2(6)】 協働して課題解決する。</p>

7 本時の実際

(1) 本時の目標

主人公を許せるか許せないか、本文を根拠にした話し合いを通して、主人公に対する自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。

(2) 本時の展開 (6 / 6)

過程 (分)	○主な学習活動 () 活動形態 ・予想される生徒の発言等	◇教師の主な働きかけ *留意点	■評価規準 () 評価方法 【 】研究の視点 ▲努力を要すると判断される生徒への手立て
導入 (5)	○前時までの学習を振り返る。 ○課題を確認し、活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本文を根拠にした話し合いを通して、主人公に対する自分の考えを深めたり、広げたりしよう。</div>	◇前時に作成したスケールチャートで、自分がもった考えを確認させる。	
展開 (40)	○前時に考えた主人公を許せるか許せないかについて、全体で共有する。(全体) 【交流①】 ○同様の意見をもったグループで考えを交流し、自分の意見を深める。(グループ①) ・許さない…「彼は全身の力でヒロ子さんを突き飛ばした。」という記述から、ヒロ子さんの命を奪ったのは、間違いなく彼だから。 ・許す …彼が小学校三年生の頃の出来事であり、「僕は死んじゃうんだ」という記述から、命の危機に直面して判断ができなかったと思うから。彼は、ヒロ子さんから逃げるために、突き飛ばしただけ。 ・どちらかという許せる …彼は確かに、ヒロ子さんの命を奪ってしまったが、「もはや逃げ場所はないのだ」という意識が、彼の足どりをひどく確実なものにしていた。」という記述から、現在の彼は二人の死を背負い、罪を償うために生きていくように感じたから。 【交流②】 ○異なる意見をもった人も含めたグループで交流し、自分の意見を広げる。 ○主人公を許すか許さないかについて全体で交流する。	◇黒板にスケールチャートを描き、ネームプレートを貼ることで生徒に互いの立場を把握させる。 *交流を通して、考えが変容したり、深まったりしたことをスケールチャートに加筆するように指示する。 *黒板のネームを活用し、意見の変容を可視化できるようにする。	【視点2 (4)】 多様な手段で説明する。 【視点2 (6)】 協働して課題解決する。 ■「彼」の生き方についての話し合いを通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。 (スケールチャートへの加筆、観察) ▲話し合いの中で、他の意見を書き込み、参考にするように促す。
終末 (5)	○教師による本の紹介を聞く。 ○単元(題材)の振り返りを行う。 ・単元(題材)での学び ・学べたことと実生活との関わり	*人称代名詞や構成や展開に工夫の見られる本を紹介する。	【視点1 (3)】 自分と結びつける。 ■これまでの読書生活について振り返ったことや今後の自分の読書生活に生かしたいことを書いている。 (振り返りの記述)

◎ 「彼」を許すか、許さないかについて自分の考えを蓄積しよう！

【自分の考えの蓄積】

許さない	許したくない	許せる	許す
<p>根拠 (本文からわかること)</p>	<p>根拠 (本文からわかること)</p>	<p>根拠 (本文からわかること)</p>	
<p>許す／許さない 理由</p>	<p>許す／許さない 理由</p>	<p>許す／許さない 理由</p>	

国語授業ワークシート 十三 夏の葬列
名前()

課題

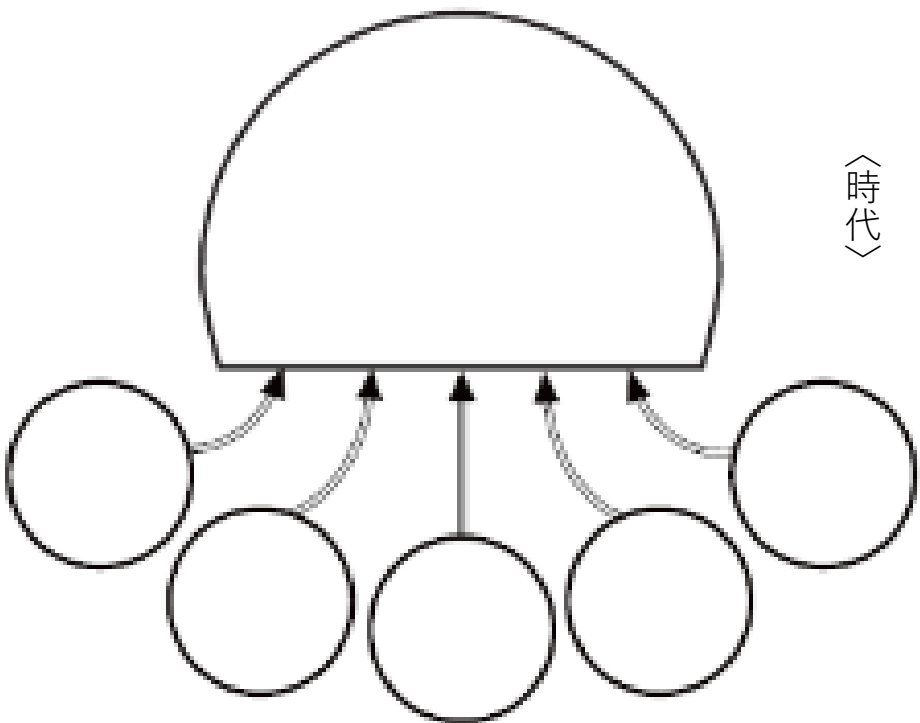
【物語の設定】

〈場面〉

〈登場人物〉

〈時代〉

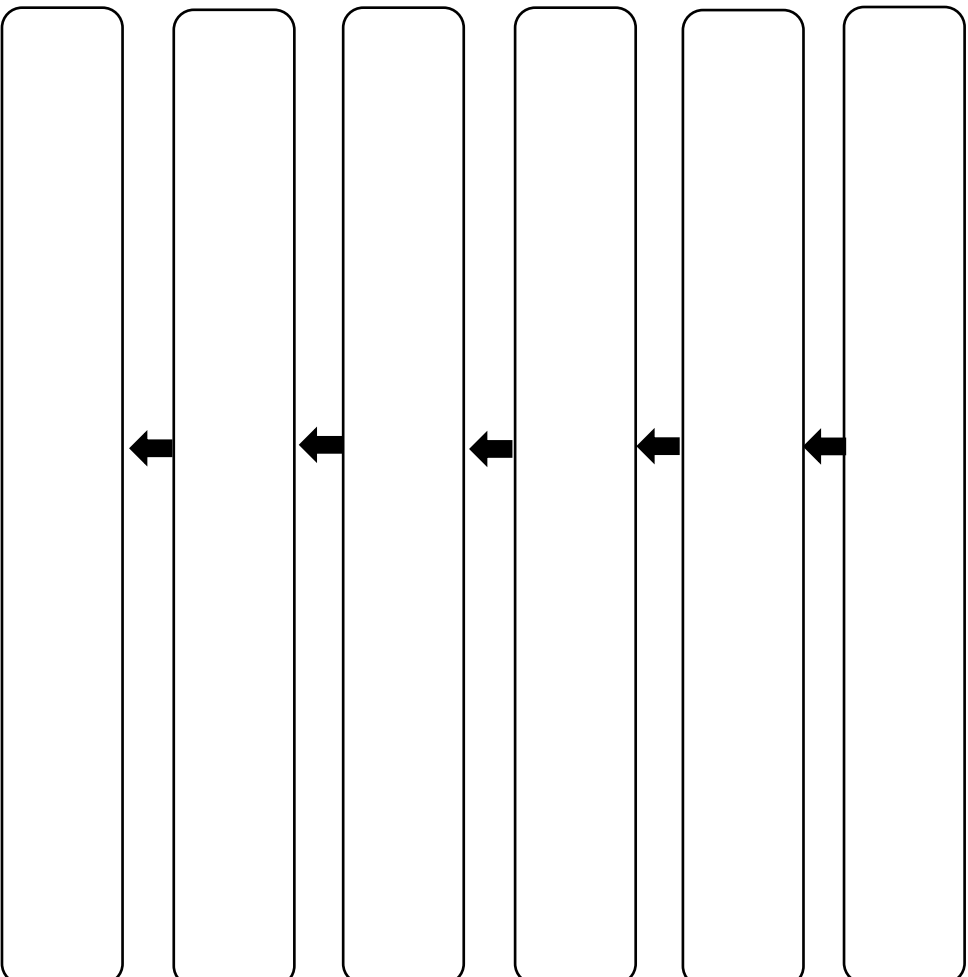
〈舞台／場所〉



課題

名前()

【場面の出来事の整理】



						展開
						時間の 順序

時間の順序を入れ替えることで、どんな効果があるか。

【授業の振り返り】

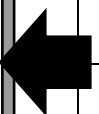
今日の授業で学びになったことや考えたことを書いてみよう！

課題

名前()

【主人公の人称の違いを整理】

人称	使われている場面	どんな違いがあるか



主人公の人称を変えることで、どんな効果があるだろうか。

【授業の振り返り】

今日の授業で学びになったことや考えたことを書いてみよう！

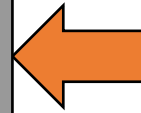
許さない×

許したくない

許せる

許す○

(許す / 許さない) 理由



根拠 (本文から分かること)

課題

国語授業ワークシート 十六 夏の葬列

名前()

許さない×

許したくない

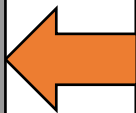
許せる

許す○



・ヒロ子さんの命を奪ったのは、間違いなく彼だから。

・自分が突き飛ばしたのに、自分のせいではないと言うのは、違うと思
うから。



・彼は全身の力でヒロ子さんを突き飛ばした。

・「俺は人殺しではなかったのだ！」

課題

国語授業ワークシート 十六 夏の葬列

名前()

)

【参考意見】

※一回目〇赤

二回目〇青

○彼が小学校三年生のときの出来事で、「僕は死んじゃうんだ。」という記述から、命の危機に直面して判断できなかったと思うから。

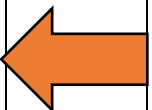
○確かに、命を奪ってしまったが、「もはや逃げ場所はないのだ。」から、現在の彼は二人の死を背負い、罪を償うために生きていくと感じたから。

○

○

×彼が、ヒロ子さんの母の葬列を見て、「奇妙な喜び」を感じてたり、「もはや彼女の死は俺の責任とは言えない。」と考えていることから、人の命を軽薄に考えていると思うから。

【最終判断】



はじめは、ヒロ子さんの命を奪ったのは間違いなく彼で、人を殺すのは絶対に良くないし、それを自分のせいではないと考えていたことから、

彼を許さないと考えていた。交流を通して、突き飛ばしたのは、彼が幼い頃の出来事で仕方ないかもしれないと思ったし、今は罪を償うために生きていくことがわかつ

